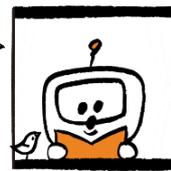


図書館だより

平成29年11月2日 蒲生高校図書館

秋は陽が落ちる時間が早く、夜が長い… 秋の過ごしやすい夜は、ゆっくり読書をするのが一番！
長編小説に挑戦したり、好みのジャンル以外の本を選んでみたり、いろいろな本に触れてみましょう。👉
楽しむためにも学ぶためにも、日々の生活の中に読書の習慣を取り入れてみませんか。



読書週間 10月27日(金)～11月9日(木)

読書の秋です！ 読書週間は是非、図書館を利用してください。



●校内一斉読書 11/7(火)6限 LHR 『蜘蛛の糸』 芥川龍之介

図書委員の朗読放送を聞きながら、作品を黙読。その後、物語について意見交換します。

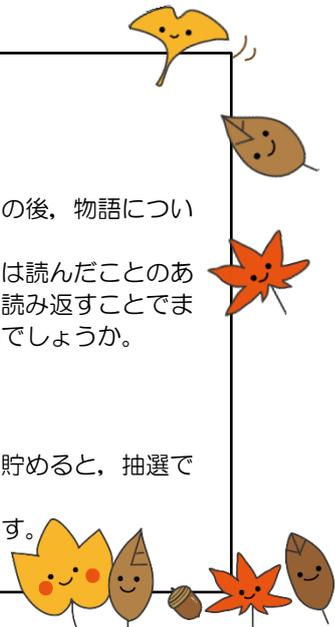
国語の教科書にも載っている短編小説なので、一度は読んだことのある作品かもしれませんが、朗読をじっくり聞きながら読み返すことでまた違う印象を受けたり、新たな発見があるのではないのでしょうか。

●読書スタンプラリー 11/30(木)まで

読書スタンプラリーに参加しよう！

本を借りると1ポイント。ポイントを10ポイント貯めると、抽選で景品をプレゼント。景品はしおり、雑誌の付録等。

読書スタンプラリーの用紙は、カウンターにあります。



芥川龍之介を知る

今回の校内一斉読書の課題図書、『蜘蛛の糸』の作者 芥川龍之介についてもっと知ろう！

芥川龍之介は35歳で自殺するまで、短編小説の可能性に挑戦し、大正期の流行作家として活躍、芥川賞の名にもなったほどです。

古典を題材にしたものから、児童向けのものまで幅広い作品を残しており、視覚や聴覚だけでなく、味覚や嗅覚などにも鋭く訴える感覚的な作風が、芥川作品の持ち味です。

短編作品が多く、気軽に読めるのでおすすめです。



『羅生門・鼻・芋粥・偷盗』 岩波書店

王朝末期の荒廃した都を舞台に展開する悲惨な人間絵巻『羅生門』、師叔石も賞賛した、長い鼻を持つ禅智内供の内心の葛藤『鼻』、芋粥に異常な執着を持つ男『芋粥』、女をめぐる盗賊の兄弟の確執『偷盗』。
いずれも『今昔物語』『宇治拾遺物語』などに素材を得たもので、芥川王朝物の第一冊として編集。

芥川龍之介 (あきたがわりゅうのすけ)
1892-1927

東京生まれ。

東京帝国大在学中、同人誌に発表した『鼻』が夏目漱石に絶賛される。卒業後は教職のかたわら初の短編集『羅生門』を刊行。その後、教職を辞して創作に専念する。

『歯車』『河童』等、多くの短編小説を残した。『続西方の人』脱稿後、薬物自殺。享年35才。



『地獄変・河童』 日本文芸社

芸術至上主義を凄絶に描いた『地獄変』と、人間社会を痛烈に批判した最晩年の代表作『河童』。



芥川作品といえば、やはり短編！
あなたにピッタリの芥川作品を見つけてみませんか？

『杜子春』 『蜜柑』 『トロッコ』
『藪の中』 『魔術』 『犬と笛』
『或阿呆の一生』 etc...

(参考) 『文豪ナビ 芥川龍之介』 新潮社